

平成 20 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 アルバック
 代表者名 代表取締役社長 諏訪秀則
 (コード番号:6728 東証一部)
 問 合 せ 先 専務取締役経営企画室長 常見佳弘
 (TEL. 0467-89-2033 大代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 8 月 16 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 6 月 期中間業績予想数値の修正(平成 19 年 7 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益(円)
前回発表予想(A)	132,000	6,400	5,460	2,300	53.62
今回修正予想(B)	116,706	3,674	2,351	2,305	53.73
増減額(B-A)	△15,294	△2,726	△3,109	5	0.11
増減率(%)	△11.6%	△42.6%	△56.9%	0.2%	0.2%
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 6 月 期中間期)	121,333	10,641	11,097	4,829	112.57

(単独)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益(円)
前回発表予想(A)	79,000	△350	2,700	1,600	37.29
今回修正予想(B)	68,928	△668	2,079	2,868	66.85
増減額(B-A)	△10,072	△318	△621	1,268	29.56
増減率(%)	△12.7%	△90.8%	△23.0%	79.3%	79.3%
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 6 月 期中間期)	80,173	4,452	6,925	244	5.68

2. 業績予想の修正の理由

(1) 中間業績(連結・単独)

売上高は、主に液晶ディスプレイ製造装置、一般産業機器関連装置、分析・制御機器関連の売上が下期にずれ込んだ影響などにより、連結・単独とも前回発表予想値を下回る見込みです。

営業利益及び経常利益は、生産改革等によるコストダウンを進めてまいりましたが、主に売上が下期にずれ込んだ影響により、前回予想を下回る見込みです。

また、中間純利益は、当中間期において製造固定費配賦の方法を見直したことにより、単独では営業利益及び経常利益が950百万円増加し、過年度の製造固定費配賦差額2,023百万円を特別利益に計上したことから、前回発表予想を上回る見込みです。連結においても、同様に営業利益及び経常利益が482百万円増加し、過年度の製造固定費配賦差額2,605百万円を特別利益に計上しましたが、前回発表予想からほぼ変更はありません。

(2) 通期業績(連結・単独)

通期の連結・単独の業績予想につきましては、平成19年8月16日発表の数値に変更はありません。

(3) 当社をとりまく概況

2007年前半から、液晶ディスプレイを始めとするFPD製造装置関連の設備投資計画が延期されておりましたが、後半から日本、韓国、台湾を中心に急速に設備投資が再開されてきており、当社をとりまく受注環境が好転してきております。また、エネルギー・環境関連では、地球規模で拡大が予測される太陽電池やハイブリッド・カー関連の設備投資の動きが活発となり、期待が高まってまいりました。

当社は、そのような成長市場に積極的に拡販活動を行ってまいります。

3. その他

配当に関しましては、当社の財務状況を踏まえて、一株あたり47円を予定し変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上